

衆議院千葉9区支部長

田沼たかし

た め ま



すべては 子供達のために

私が政治の世界に入ってもうすぐ20年になります。政治家になる前は、千葉から東京に通う普通の会社員でした。きっかけは、鹿児島県の知覧に行き、特攻隊の実物の遺書を読んだことです。これは、戦争を賛美しようということではありません。特攻作戦は最悪の作戦でした。しかし、特攻作戦に参加した青年達の生き様を思うと、涙が止まらなかったのです。当時の私より若い20歳前後の若者が、自分が特攻することで、家族や日本を守ることになると信じて、散っていった。**私も世のため人のためになにかしなければ、**とそのとき決心しました。

そして、30歳の時に一念発起して会社を辞め、「地盤・看板・靴」ナシで政界に飛び込みました。もちろん身内に政治家もおらず、党もなく、完全にゼロからです。

思いだけで始めてしまったため、落選を2回経験し、20年のうち8年が浪人という**苦勞人**です(自分で言うのもなんですが)。

この間に結婚し、子供も3人生まれました(妻に感謝)。子供ができると、政治に対する取り組み方も大きく変わりました。若い時は、自分の信念・主張を実現することだけを考えていました。しかし今は、**子供達の世代により良い日本を残すことが何よりも重要**だと考えています。

その観点から今の日本の状況を見ると、**私は大きな危機感を覚えます**。人口減。経済はほとんど成長せず、社会保障費だけが莫大になって身動きがとれなくなっています。近隣の国々が日本に日々圧力をかけてきており、今後さらに厳しい国際情勢になることが見込まれます。

それらの大きな課題に対して、政治が真正面から取り組んできたか。NOと言わざるを得ないと思います。自分達の支援組織や目の前の票におもねり、**抜本的な解決を先送りしてきました**。

どう考えても今のままの年金・医療・介護制度が維持できるわけがないのに、高齢者の批判が怖くて改革をしてくれなかった。業界団体の票・金が欲しくて、新しいビジネスの邪魔をしてきた。そして、票にならない子供達のための政策はてんで実行されてこなかった。世論の反発を恐れ、やるべき外交防衛強化も先送りにしてきた。

子供達に豊かで強い日本をのこすため、今こそ、大改革に取り組まなければなりません。これは簡単ではありません。**捨て身の覚悟が必要です**。

冒頭に書いた通り、私の政治の原点は知覧にあります。**日本を守るために飛び立ったあの青年達のように、日本のための仕事がしたい。子供達に胸を張れる仕事がしたい**。私ももうすぐ50歳です。第一線で働ける時間はそう長くない。政治家人生最後の期間を、**わが愛する日本のために捧げる覚悟**です。

田沼隆志



田沼たかしプロフィール

- 昭和50年 千葉市稲毛区生まれ、小中台中、千葉東高校(合唱部部長)、東京大学(経済学部)卒
- 平成11年 外資系経営コンサルティング会社(アクセンチュア(株))入社、国内外の企業の改革案件に取り組む
- 平成21年 千葉市議会議員2期(無所属)
- 平成24年 衆議院議員1期(日本維新の会)任期中は、特に教育委員会改革法案を提出するなど、教育再生に心血を注ぐ
- 平成31年 県議会議員選挙(四街道市)で初当選(無所属)
- 令和5年 県議会議員選挙で2選(無所属・最高位当選)
- 趣味 合唱:「合唱団からたち」団長
千葉テレビ「カラオケ大賞」トップ賞(2回)
スポーツ:サッカー、野球観戦、合気道、ジム
グルメ:ラーメン、ビール
- 家族 妻、長男(中1)、次男(小5)、長女(小2)

民間企業出身
衆議院議員1期経験の即戦力
地方議員歴8年の叩き上げ
子育て世代と真ん中



公式LINE
ご登録下さい!



田沼たかしさんを
推薦します
日本維新の会共同代表
吉村ひろふみ